

「市民の声しっかり届けます」・・・新しい年の始めにそろって街宣

原発即時ゼロ、住民本位の地域防災計画見直し、TPP反対、消費税増税反対、平和憲法擁護、住宅リフォーム助成継続、金融支援はじめ市内循環型の経済政策の確立、総合事務所機能充実、介護保険料や国保税の引き下げ・・・などの声をしっかり届けます

絶対得票率が、比例でわずか15%、小選挙区で24%の自民党。同党の6割を超える獲得議席は、小選挙区制度の弊害が作り出した虚構の議席です。自民党の「大勝」は民主党の国民への裏切り政治に対する国民の大きな怒りの結果です。自民党への信任ではありません。

こうした中、自公政権によってTPP推進や原発再稼働・新規建設や憲法改悪などが日程に上ってきています。また、消費税増税も、市民の懐が寒い状況の中で強行されようとしています。

日本共産党議員団は、こうした危険な政治状況の下で、市民の暮らしを守りぬき、国政とも連動してがんばる決意です。



新年、雪の中街頭から市民の皆さんに「今年もがんばります」と訴える右から、橋爪、平良木、上野の各日本共産党議員

市民の声生かす70項目 日本共産党議員団が来年度予算への要望書を提出

日本共産党議員団は、12月28日、市民の切実な声を反映した「2013年度予算に対する要望書」を市長に手渡しました。

要望の内容は、TPPに反対すること、柏崎刈羽原発の再稼働に反対し市民の安心・安全を守ること、災害から市民の生命財産を守るための地域防災計画を早期に策定すること、市内中小企業者を守る政策を推進することなどのほか、教育・福祉・医療の充実など、70項目です。

手渡す際には、約30分にわたって市長と懇談しました。市長の応答で特徴的だったのは、「自民党の政策が今までと全く逆方向に向いていることに戸惑っている」といった感想を述べていたことでした。また、政権が変わったことによる自民党の経済政策については、年金の目減りや経済格差が広がることに対して、強い警戒感を示していました。

私たち議員団は、懇談の中で、「不況が深刻化している状況の下で、市内経済を活性化させることが大切」と述べ、経済波及効果の高い住宅リフォーム促進事業の継続や、市内中小企業支援の充実、市民の暮らしを応援する各種施策の充実などを求めました。



市長に予算要望書を手渡す議員団 12月28日市役所にて



市役所共産党議員団室での執務(政策論議)の様子

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 346 2013年1月13日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)